

第2回佐竹台留守家庭児童育成室運営業務委託に係る保護者説明会 要旨

【開催日時】

令和6年2月4日（日） 午後2時00分～午後3時00分

【市出席者】

堀 地域教育部次長、中村 放課後子ども育成室参事、山下 同主幹

1 【運営業務委託の概要説明】

～説明動画「留守家庭児童育成室の民間委託について～②募集要領・仕様書編～」の視聴～

2 【事前質問への回答】

配付資料のとおり

3 【質疑応答】

保護者：保護者会からの要望は、いつまでに取りまとめたらよいでしょうか。

吹田市：基本的には、募集要領と仕様書を大きく変えることは考えていません。です。どこまで御要望にお答えできるかわからないのですけれども、4月の中旬には委員の方々に事務局の案をお渡しさせていただくこととなりますので、それまでに反映の検討をさせていただくためには、遅くとも3月中にはいただけたらと思います。

保護者：1点目、引継保育について、佐竹台育成室は4クラスあり、要配慮児童が多い学級だと認識もされていると思うのですが、それでも最低条件の20日以上かつ延べ80時間以上という基準は変わらないのでしょうか。

2点目、令和5年度から委託事業者での運営を開始した山二育成室では、児童数が160人を超えており、もうすぐ1年目を終えると思うのですが、そこでの大きなトラブルや課題がないのかということと、現在、児童数が250人を超えている千二育成室の引継保育をされていると思うのですが、その中で起きている課題やトラブルがあれば教えていただければと思います。

吹田市：1点目、仕様書と募集要領については共通仕様書・共通募集要領とさせていただいており、佐竹台育成室に特化したものではありませんので、基本的に最低条件は変わりません。ただ、事業者が佐竹台育成室の見学会などを通して、どのくらい引継ぎが必要なのかというのは見込まれますので、事業者としても、おそらく最低条件の引継日数だけでは対応できないと思いますし、市からお声がけさせていただく予定です。

2点目、引継ぎの中でトラブルが起きたというのはお聞きはしていません。
保護者：千二育成室での250人規模の引継ぎについて、スムーズにいつているのか気になるのですが、事業者と話をすることはありますか。

吹田市：児童数というのももちろんありますし、事業者の体制については採用状況などもあると思います。これまで事業者と話してきた中で感じたのは、主任指導員が早く決まるのか決まらないのかということや、担任指導員の決まるタイミングなどによって引継保育の進み方というのは違ってきます。その辺が早いほうがいいというのはもちろんありますので、採用状況を確認するなど、事業者とも話をしています。

保護者：事前質問の6番について、事業実施計画書等で事業者の内容を確認されるというのは、どれぐらいの期間のものを提出していただくものなのでしょうか。例えば、損益計算書といったものは、何年分のものを確認されるのでしょうか。

吹田市：前提として実績のある事業者の応募になるので、事業実績がわかる書類というものは、その一覧を提出していただくことになるため、期間の設定はしていません。損益計算書などのいわゆる決算書に関しては、各法人で決算の時期が違っていたりするので、表現としては直近のものというふうにさせていただいており、期間としては1年分になります。

保護者：1年分だけしか見られないということですね。

吹田市：事業の経営実績としてということであれば、おっしゃる通りです。

保護者：緊急なトラブル対応にも責任者が現場に駆けつけることが条件ということで、何かあったら事業者もきちんと対応するというのはわかるのですが、震災などの災害時に対応するマニュアルはあるのか教えてください。

吹田市：災害時について、ほとんどの育成室が学校の敷地内にあり、学校との連携なども必要となりますので、市で整備しているマニュアルを事業者にお渡ししています。そのため、直営育成室と同じ対応になります。災害時以外にも、アレルギー対応などのマニュアルは、市で整備しているものをお渡しすることになります。

保護者：教育委員会が小学校に通達する一般的なマニュアルと同じようなものが市から渡されるので、新しい事業者でもきちんと動くことができるということで、ありがとうございます。

それに準じて、例えば、不審者情報が教育委員会に入って対応が必要な時に、瞬時に判断が必要な場合、最終判断の責任者というのが、小学校でしたら学校長等となりますが、育成室の運営が事業者になると、事業者になるのか、市が管理されているので指導員の先生が市に確認して判断を仰ぐのか、小学校と対応を統一するのかなど、最終判断の責任の所在を教えてください。

吹田市：おっしゃられるように小学校の判断というのもありますので、市で確認、調整をした上で、事業者に判断を下ろすことになります。そこを速やかにするために、現場には主任指導員がいますので、市と主任指導員が連絡を取って、保護者への連絡は事業者からするという流れになります。

保護者：事前質問の2番目について、保護者会で取りまとめていただいた上で、メール等で送付してくれたら反映の検討を行いますと記載があるのですが、こういった意見は反映できないですとか、こういう内容であればまだ検討の余地があるという判断基準を事前にお知らせしていただかないと、無駄な情報を送ってしまうことにもなりかねないので、そのあたりを明確に提示していただけないでしょうか。

吹田市：明確な判断基準というのはお示ししにくいのですが、一つ言えるのは、委託の取組が始まってから募集要領や仕様書の改善を重ねてきて、過去の保護者の皆様からの御意見や審査会での意見を踏まえて、積み重ねてきた経過もあり、あまり大きく変える予定はないとお伝えしました。ただ、実際に令和5年度の審査会での意見で変わった点もありますので、事前にお話をさせていただいて情報共有してから、それが必要かどうかを決めてもいいのではと考えています。

保護者：現時点では保護者会で仕様書がまだいただけていないので、コミュニケーションも取れていない状況です。取り急ぎ仕様書案をいただいて、早急に保護者会でも相談しての方がいいのかなと思うのですが。

吹田市：大きく変えないと申し上げた意味で言いますと、今年度公募した資料はホームページに全部ありますので、そちらを御覧になっていただくか、後日リーダーを通してお送りさせていただく形でもいいですか。

保護者：はい。

吹田市：委託事業者が決まってから保護者懇談会を予定していますが、育成室での取組を具体的にこうしてほしいというような要望については、募集要領や仕様書を変更するというよりも、事業者に対して直接要望していただくことも可能ですので、そちらも御検討いただけたらと思います。

保護者：引継保育がとても心配なのですが、20日以上と書いてありますが、1人が20日以上なのでしょうか。有資格者または実務経験者を半数以上は配置すると書いてありますが、1人が3、4日来たところで何を見ることができるとかと思えますし、引継保育について詳しく教えていただきたいと思えます。

吹田市：資料の5ページを見ていただくと、1支援当たりと書かせていただいています。こちらは1教室当たりと読みかえていただければと思います。ですので、1教室当たり20日かつ延べ80時間ということになっています。日数については延べとしていませんので、例えば1日目にAさん、2日目にBさんであれば、

引継日数としては2日になります。延べ時間というところですけども、一人ひとりが同じ教室に4時間ずつ2日入れば、2日の8時間になります。ただ、Aさんが1日目1組に4時間、Bさんが2日目2組に4時間となりますと、どちらも引継ぎの延べ時間は4時間ずつという計算になります。このように1教室当たり20日以上かつ延べ80時間というのをクリアしていただくことになります。佐竹台育成室で言いますと、4教室分の引継ぎを行っていただく必要がありますので、各教室20日かつ延べ80時間を満たしていただく必要があります。今年度はまだ実績が出ていないのですが、令和4年度に引継ぎをした吹二育成室と山二育成室の実績について、吹二に関しては、教室数が3教室ありまして、引継日数としては全部で110日、時間でいうと合計で1,906時間、1教室当たり630時間ほどになります。山二育成室に関しては、4教室ありまして、日数が91日、時間は2,274時間、1教室当たり570時間弱の引継ぎを実施しました。

保護者：おそらく先ほどの質問で心配ですとおっしゃっているのは、引継ぎに来られた方が、次の日に引継ぎに入った別の方にその教室の様子などを伝える際の対応のことだと思います。職員体制や要配慮児童の引継ぎを充実してほしいという願いもおそらくあると思います。ありえないとは思いますが、じっと教室にいて時間だけ稼ぐというのはないですよという心配だと思いますし、私も同じく心配しています。事業者が決まったら、指導員の先生からの引継ぎもありますけれども、それぞれの育成室で場所や環境は違うと思うのでこういうふうにしてほしいとかここ見てほしいとか実はここ危ないですということを意見しながら、保護者に寄り添って充実した引継ぎを行ってほしいです。ただ単に時間と日が過ぎて引継ぎが完了となってしまうのではないかとこの保護者の心配も汲んでいただけたらと思います。

保護者：吹二育成室は3教室で110日、山二育成室は4教室で91日とおっしゃいましたが、延べ何人ずつ来られたのでしょうか。

吹田市：おそらく人数が1人だけ来たらいいのではないかとこのところが引っかかっているのではないかと思います。人数に関しては、全室共通の引継項目がありますので、教室ごとのカウントはしないことにしています。当然、保育に入っている引継ぎと育成室全体の引継ぎもありますので、日数に関しては、一日に何人参加しても1日というカウントにします。ただ、延べ時間を計算して教室単位で割りますので、日数の条件と時間の条件の両面で、量と質を確保するという考え方です。実際に、実績を稼ぐために1人だけ引継ぎに入るというのでは、委託開始後に保育現場は回りません。大体は引継期間中にだんだん指導員が増えてくるという形なので、1回引継ぎに入った人がいなくなるというのはあまり考えにくく、主任指導員が決まっていればその方はずっと入ります

し、だんだん担任が増えていくというようなイメージになります。

他に質問がなければ、本日の説明会を終了します。 (終了)